

石桜同窓会 設立90周年記念



記念式典

— 次 第 —

第1部 記念講演会

第2部 記念式典

開式の辞

黙 禱

式 辞

祝 辞

母校への記念品贈呈

功労賞・感謝状贈呈

閉式の辞

第3部 記念祝賀会

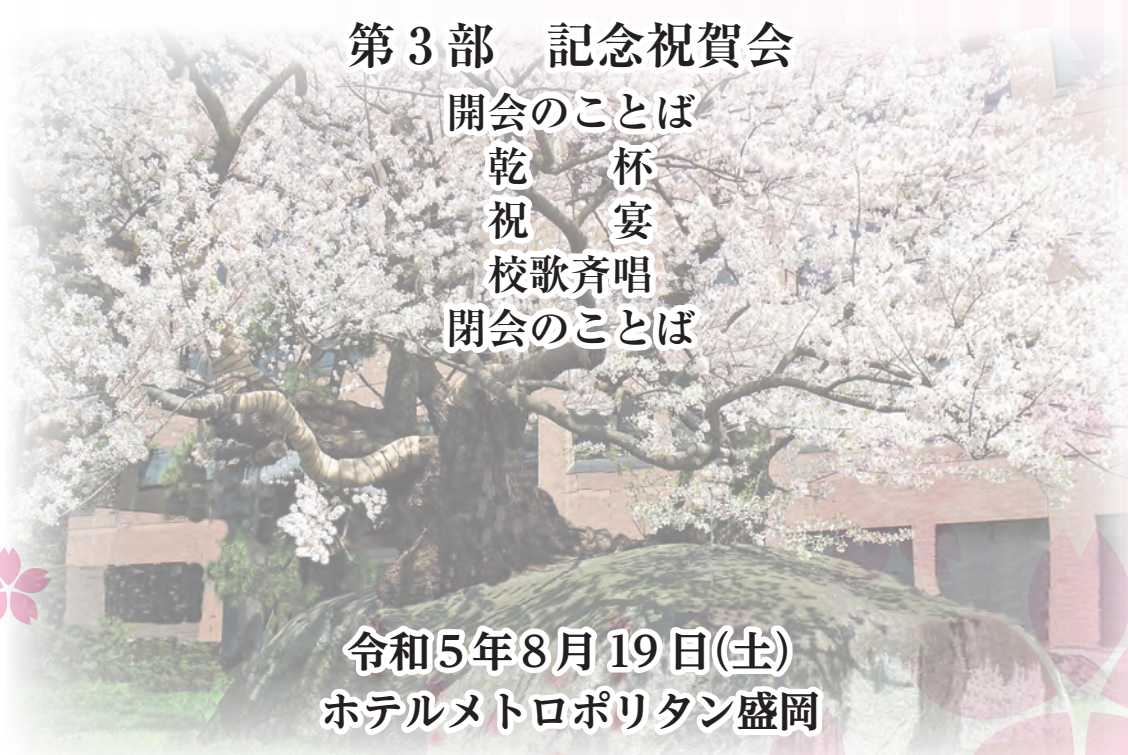
開会のことば

乾 杯

祝 宴

校歌斉唱

閉会のことば



令和5年8月19日(土)
ホテルメトロポリタン盛岡

石桜同窓会設立 90 周年記念式典 式辞

石桜同窓会 会長 村井 紀之



本日ここに、石桜同窓会設立 90 周年記念式典の挙行にあたり、ご多用中にも関わらず、学校法人岩手奨学会理事長 三田義之様、岩手中・高等学校校長 和田健一郎様をはじめ、多くの同窓生の皆様のご臨席を賜り誠にありがとうございます。また、日頃の同窓会事業に際しましては、特段のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

母校の岩手中・高等学校は、三田義正翁によって、郷土岩手から進取の気概に富んだ有為な人材の育成を目的に、大正 15 年（1926）2 月 11 日に創立され、これまで 1 万 5 千人余の卒業生を輩出しており、卒業生は県内はもとより、全国、更には海外においても各界、各分野で活躍されております。

母校は「積慶（せっけい）重暉（ちょうき）養正（ようせい）」の三大綱領を校訓として掲げ、石割桜に象徴される石桜精神をもとに、今日に至るまで良き伝統が引き継がれており、私学ならではの特色を生かした学校教育を推進しており、令和 8 年（2026）には創立 100 周年を迎えることとなります。

石桜同窓会は、昭和 8 年（1933）2 月に、卒業生 20 数名の発起人が母校に参集して石桜同窓会設立発起人会を開催したことが始まりです。同年 8 月、会員である旧 1～3 回卒業生 267 名のうち 30 余名が参加し、第 1 回同窓会総会を開催。初代会長に工藤久吉氏（旧制 1 回生）を選出し、本格的に動き初めました。爾来、歴代会長のもと、会員相互の親睦を図り、交誼を厚くし、母校の繁栄に寄与するという同窓会の目的に沿って、組織強化や活性化を図りながら活動してまいりました。

総会及び懇親会の開催、同窓会報及び名簿の発行、母校行事への参加・援助、顕彰事業等の実施やホームページを通しての情報発信、また母校創立 50 周年、及び 70 年記念事業など、同窓生の皆様方のご協力、ご支援をいただきながら活動の実績を積み重ねてまいりました。

石桜同窓会設立 90 周年の年にあたり、新型コロナウイルス感染対策に万全を期しながら、令和 3 年より 90 周年記念事業実行委員会を立ち上げ準備してまいりました。記念事業として、4 月 16 日に「石割桜に向かって校歌を歌おう」を実施し、地元の報道機関に取り上げていただきました。4 月 26 日には全校生徒参加の中、マイクロバス 1 台の贈呈式を実施しました。5 月 14 日には記念ゴルフ大会を開催し、同窓生の交流の機会が持たれました。そして、本日の記念講演会、記念式典、記念祝賀会を無事開催できましたことは、大変感慨深いものがあります。そして記念事業の最後には、石桜同窓会の記念誌を 12 月に発刊予定です。

昭和 8 年の石桜同窓会発足から、昭和、平成、令和と続いてきた同窓会 90 年の歴史は、先輩方の母校愛と後輩達への想いが途切れることなく引き継がれてきた証です。ここ数年は感染症の世界的流行をはじめとして、多様化や少子高齢化の加速など、時代は目まぐるしく変化し、大きな変革の時代に入っております。偉大な先輩方が築いてこられた 90 年の歴史ある伝統を、我々も大切に後進へ引き渡しつつ、今後は是非多くの世代の同窓生にご参加いただき、積極的に交流を重ね、次の時代の同窓会の形を作っていければ幸いです。これまでご支援、ご協力をいただいた全ての同窓生の皆様、そして母校関係の皆様様に感謝申し上げます。

結びに母校の更なる発展と同窓生の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りし、石桜同窓会設立 90 周年記念式典の式辞といたします。

記念講演会



たんけん 「南極探見 500 日」



岩手日報社 編集局国際部記者
菊池 健生 氏

〈プロフィール〉

菊池 健生 (きくち・けんせい)
生年月日 1990年11月28日 (32歳)
出身地 岩手県盛岡市

2009年3月
岩手高校卒業 新61回生
2013年
岩手日報社入社
以来 写真班、久慈支局、県警担当など
2018年4月
米国ロングトレイルを歩く
2021年11月～
第63次南極地域観測隊に同行
2023年3月
帰国
2023年4月
盛岡市政担当として復帰



石桜同窓会 沿革

- 昭和8年 2月 石桜同窓会設立発起人会開催、同時に会則制定
8月 第1回石桜同窓会総会開催 初代会長工藤久吉(旧1回生)が就任
出席者30余名 会員数(旧1~3回卒業生)267名
- 昭和9年 8月 第2回石桜同窓会総会開催
- 昭和10年 8月 第3回石桜同窓会総会開催
- 昭和11年 1月 三田義正葬儀に太田一(旧1回生)同窓会代表として弔詞を捧げる
8月 会則改定
第2代会長 佐々木哲郎(学校長)就任
10月 第1回岩中会総会開催
- 昭和12年 11月 第2回在京岩中会開催(その後記録なし、日中戦争、第2次世界大戦等で開催出来なかったのでは?)
- 昭和20年 同窓会会員2,000名を超える
- 昭和26年 8月 第3代会長松浦文彌(旧1回生)副会長戸嶋正夫就任
12月 復活第1回東京岩中会開催(昭和36年迄21回開催)
- 昭和29年 5月 桜泳会(水泳部OB会)発足 初代会長齋藤徳三郎、副会長栃内松四郎就任
- 昭和30年 8月 母校野球部甲子園初出場 副会長栃内松四郎 遠征費用等で奔走
- 昭和34年 8月 第4代会長松見得明就任
石桜教職員会発足
- 昭和37年 6月 石桜同窓会会報発刊決定
- 昭和48年 創立50周年記念推進委員会設置
- 昭和49年 9月 副会長戸嶋正夫退任 後任に熊谷龍男(旧5回生)就任
母校50周年記念事業基金として募金目標1億円決定
- 昭和50年 11月 母校50周年記念事業大綱決定
- 昭和51年 10月 母校50周年記念総会 南部会館
記念講演「期待する人間像」講師宮城音弥(東京工業大学名誉教授)
記念美術展 盛岡地区合同庁舎別館展示場
- 昭和53年 3月 記念誌「石桜50年史」刊行
- 昭和58年 11月 クラブ活動等表彰制度設置
東京石桜同窓会発足(再々出発、現在に至る)
- 昭和61年 5月 「三田義正翁を語る会」、同窓の詩人「村上昭夫研究会」開催
太田橋河川敷の野球部に借用の補助金と指導者の研修会の援助実施
6月 「石桜振興会」発足 会則制定
- 昭和62年 3月 「第1回石桜振興会」開催 会長に牟岐悟樓(元教諭)を選出
5月 「第2回石桜振興会」開催 池野藤兵衛、浅沼秀三、藤井茂らの講和会開催
10月 6年間休刊していた「石桜同窓会会報」の復刊決定 発刊
- 平成元年 5月 「石桜振興会」H賞受賞の詩人「村上昭夫を語る会」開催
- 平成2年 10月 副会長下川原善嗣郎(新2回生)就任
- 平成3年 10月 母校70周年記念事業実行委員会発足
- 平成4年 12月 「石桜振興会」より人材育成と果敢の実業家「三田義正」刊行
- 平成5年 8月 「石桜振興会」主催文化講演会「いま 炎立つ いわて」開催
講師高橋克彦(新19回生)並びに記念祝賀会開催
- 平成6年 10月 松見得明会長、栃内松四郎副会長勇退 顧問に就任
第5代会長に赤坂俊夫(旧9回生)就任、副会長に鱈沢昇(旧13回生)、藤原仁左衛門(旧14回生)、村井紀之(新18回生)選任
- 平成7年 10月 「石桜振興会」に代わって「クラブ活動振興委員会」を発足
母校70周年記念事業大綱を発表
12月 第1回母校70周年記念事業特別委員会開催
- 平成8年 10月 石桜同窓会主催「母校創立70周年祝賀会」開催
記念講演 演題「性行為感染症(性病)の最近の傾向」講師赤坂俊夫(同窓会長)
「石桜70年誌」発刊
- 平成9年 8月 第1回仙台石桜同窓会開催(以前にも仙台石桜同窓会はあったようだが記録が残っていない)

平成 9 年	10 月	第 4 代学校長山中順三先生の追悼式（同窓会総会時に）開催
平成 11 年	3 月	赤坂俊夫同窓会会長逝去
		鱒沢昇副会長が会長代行に就任
	10 月	第 6 代会長に下川原善嗣郎（新 5）就任
		村上照五郎（新 2）小枝指博（新 9）村井記之（新 18）副会長就任
平成 12 年	11 月	母校 70 周年記念としてマイクロバス 2 台寄贈
平成 13 年	10 月	下川原会長体調不良のため辞任
		第 7 代会長に村上照五郎（新 2 回生）、副会長竹花国夫（新 8 回生）就任
平成 14 年	3 月	同窓会員 10,000 名を越える
平成 16 年	10 月	賛助会費制度発足
平成 17 年	3 月	東京石桜同窓会が校名板を母校に寄贈
	11 月	第 8 代会長に小枝指博（新 9 回生）就任
		副会長に竹花国夫（新 8 回生）、村井紀之（新 18 回生）明戸均（新 21 回生）、菅原一也（新 31 回生）を選任
平成 20 年	3 月	石桜同窓会ホームページを開設
平成 23 年	5 月	東日本大震災で被災された沿岸部の同窓生を会長、役員が激励訪問
	12 月	東日本大震災で被災された沿岸部出身の在校生に義援金贈呈
平成 24 年	10 月	同窓会組織強化委員会設置
		「第 6 回土井土井晩翠先生が作詞した校歌をいっしょに歌いましょう」出場
		顕彰事業、同窓会主催「村上昭夫生誕 85 周年記念事業『こおろぎ忌』を開催
平成 25 年	5 月	顕彰事業、「栄光の体操部」を実施
	8 月	明戸均、菅原一也副会長退任
		武藤正吾（新 14 回生）、樫山直樹（新 24 回生）を副会長として選任
平成 26 年	6 月	石桜ゴルフコンペを同好会より同窓会主催事業に変更
	8 月	第 1 回成人の集い」（総会と共催）開催
		講演会 演題「相続のための生前対策」講師樫山直樹（新 24 回生）を開催
	10 月	顕彰事業「バリ在住の画家 宇津宮功（新 15 回生）」を実施
平成 27 年	6 月	石桜同窓会会旗作成
	11 月	平成 27 年度顕彰事業ラクビー部「闘魂」座談会を実施
平成 28 年	10 月	母校創立 90 周年事業協賛「石割桜に向かって校歌を歌おう」を開催
	11 月	母校創立 90 周年事業協賛「三田義正翁の胸像」を母校に寄贈
		母校創立 90 周年式典に参加
	12 月	平成 28 年度顕彰事業「60 年ぶりに蘇える野球部甲子園出場」実施
平成 29 年	8 月	小枝指会長勇退
		第 9 代会長に村井紀之（新 18 回）就任
		熊谷哲郎（新 20 回生）、佐藤隆（新 26 回生）を副会長として選任
平成 30 年	2 月	同窓会新規事業として「第 1 回石桜同窓会入会式」開催
		「平成 30 年版石桜同窓会会員名簿」発刊
	12 月	顕彰事業「小笠原哲治先生」を実施
令和元年	2 月	石桜同窓会ホームページリニューアル
令和 2 年	8 月	定期総会コロナ禍のため書面決議で実施
	11 月	令和 2 年度顕彰事業「岩手ラクビーの父・広嶋先生」を実施
令和 3 年	7 月	石桜同窓会設立 90 周年記念事業実行委員会設置
	8 月	定期総会コロナ禍のため書面決議で実施
令和 4 年	5 月	90 周年記念事業大綱決定
	7 月	定期総会はコロナ禍のため会則に基づき理事会が決議
	8 月	会報 47 号前倒して発行
令和 5 年	2 月	石桜同窓会入会式再開
	4 月	90 周年記念事業「石割桜に向かって校歌を歌おう」開催
		90 周年記念事業「母校にマイクロバス寄贈」贈呈式開催
	5 月	90 周年記念事業「記念ゴルフ大会」開催
	8 月	90 周年記念事業「記念講演会」「記念式典」「記念祝賀会」開催
	12 月	90 周年記念事業「記念誌」発行（予定）

石桜同窓会設立 90 周年記念事業実行委員会役員名簿

実行委員長	村 井 紀 之	(新 18 回 生)	石桜同窓会会長
副実行委員長	武 藤 正 吾	(新 14 回 生)	石桜同窓会副会長
〃	熊 谷 鉄 郎	(新 20 回 生)	〃
〃	明 戸 均	(新 21 回 生)	石桜同窓会常任理事
実行委員	赤 澤 征 夫	(新 9 回 生)	石桜同窓会常任理事
〃	越 戸 國 雄	(新 16 回 生)	〃
〃	中 村 一	(新 19 回 生)	〃
〃	桑 原 伸 行	(新 22 回 生)	〃
〃	菅 原 一 也	(新 31 回 生)	〃
〃	須 賀 津 人	(新 40 回 生)	石桜同窓会理事
〃	前 野 純 一	(新 45 回 生)	石桜同窓会常任理事
〃	中 村 公 紀	(新 61 回 生)	〃
〃	高 橋 浩 二	(新 20 回 生)	
監事	赤 澤 征 夫	(新 9 回 生)	委員と兼務
〃	中 山 泰 志		事務局と兼務
事務局	中 山 泰 志		石桜同窓会事務局長
〃 会計	杉 村 克 明		石桜同窓会事務局



石桜同窓会発会式
昭和 8 年 2 月 11 日



石桜同窓会第 1 回総会
昭和 8 年 8 月 20 日